

お母さんになるあなたへ。

命の芽生えを知ったその日から
おめでとうございます。
ママになる喜びのあなたに歯科医師からのお知らせです。

妊娠 出産 授乳期は女性の人生にとって大きな変化が起こるとても大切な時期ですが、同時にお口の中にも大きな変化、そしてケアのとても大切な時期です。

お母さんのお口の変化

妊娠すると、女性ホルモンが変化し、歯周病や齲歯になり易くなります。又、つわり等で口腔清掃がしにくくなるのも原因の一つです。

でもこの時期は3つの大切な時期なのです

①

お母さんの歯肉に炎症がある。

② 産後にお母さんの歯が弱くなったり子供にカルシウムをとられたり、と云うのは全くの迷信です。

↓
歯周病菌が血液に入る

↓
この時期の適切なケアがお母さんの生涯にわたる、お口の健康につながります。

歯周病菌が羊水に入り込んで赤ちゃんの発育を妨げる

子宮の収縮を早める

知ってました?

③ お母さんがつわりで一番しんどい時期に大部分の乳歯が作られ始めます。又お腹にいる赤ちゃんの口の中はきれいですが生活を共にする両親の口から虫歯菌が感染することによって、虫歯ができるになります。2歳までに虫歯菌の感染の無い子は、その後、虫歯になる率がグーンと低くなります。

↓
早産 低体重出産の危険が7.9倍

妊娠中の歯科治療

レントゲン撮影

生殖器への被爆は

小さいレントゲン（デンタル）・・・・0.008 (msv)

大きいレントゲン（パノラマ）・・・・ほぼゼロ

※防護エプロンの使用でほとんど問題ありません。

妊娠中の麻酔

通常歯科で使用している麻酔は、無痛分娩にも用いられているもので、又、量も少なく安全です。むしろ、我慢すると痛みのストレスによって子宮が収縮するので、適切に使用した方がよいと思います。

※但し、妊婦さんの体調と気持ちを尊重し治療を進めますので何でもご相談下さい。